



松尾地区一般者の応募



標語を全員でまとめあげた1年1組

# 松尾育成会便り

平成14年度  
第8号  
松尾青少年健全育成会  
広報部  
(部長 小池 昇)

## 親子スポーツ交流会

育成会久井支部長 岡島 隆



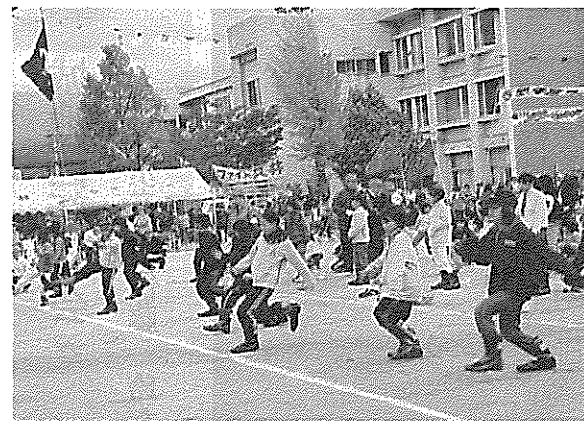
親子でスポーツ

昨年の十月二十日に、久井地区としては恐らく初めてである小学生、中学生、PTAによる合同スポーツ交流会を開催した。元々中学校PTAが単独で計画していたものであったのだが、日程の都合上、育成会と小学校が協賛という形での開催と成り、協議を重ね、手を加えて実現した。午前はマレットゴルフ大会、午後は焼肉大会と二部構成のダブル大会と成り、親同志の親睦はもとより、中学生と小学生という、垣根を越えたほほ笑ましい光景が随所に見られ、主催者の一員として嬉しい限りであった。四月から、学校週五日制がスタートし、地区として、育成会として、どの様な取り組みをしたら良いのか、暗中模索の中での初めての試みであっただけに、まずまずの結果は、今後の活動にある程度の手応えと方向性が見えてきた気がする。少子高齢化、核家族化が更に進み、地域の世代交流が益々困難に成りつつある今日、親子間だけでなく、お年寄りといふ様な様々な交流を通じて、お互いの信頼を築く事が、豊かな地域社会を造り、健全な子供が次世代を担う大人へと成長して行くのではないかと信じる。子供達の歓声と笑顔は地域の宝物である。

## 松尾市民運動会

育成会新井副支部長 矢崎 健治

十一月三日、松尾小学校グラウンドで、恒例の市民運動会が行なわれました。前日から天候が余り良くなく、心配されましたが、朝には回復し、無事に開催する事が出来ました。

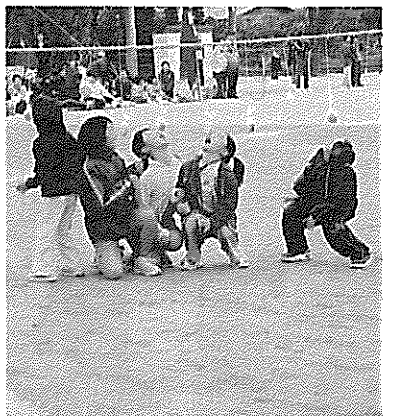


飛んでイスタンブーツ (長ぐつ飛ばし)

気温が低い中での運動会となり参加人数が、どうかと思いましたが、各地区共に出走が多少遅かっただけで、プラカード行進、開会式と進んで行くに連れ多数参加となり、競技開始の頃には、全員座れない程でした。そして競技を始めてから「とびくく」のため、小学一年生、二年生と段々と待機線に並んで組み合わせをしていると、予定人数を超えての参加となり、びっくりました。いよいよ「とびくく」が開始されると、小さい体を精一杯使って、走っていました。学年が上がるに連れ

## 編集後記

本年度の育成会だよりは、『青少年の育成はまず、身近なふれあいから』をテーマに、各地区ごとの子供たちとの交流をメインに、前後期共に見やすい広報紙を目指し、編集いたしました。発行にあたり、御協力いただいた方々には、厚くお礼申し上げます。  
広報部長 小池 昇



大きな口でパン食いだ

## 「あいさつ」は

### 家庭から地域から

育成会副会長 沢口 忠夫

松尾地区挙げての「あいさつ」運動、区民の皆様次第に浸透してまいりました。

今回区民の皆様方に標語を募集しました所、区民の方から三名、小学生の皆さんから二十四句、応募いただきました。

採用させていただいた作品は次の通りです。

- ・おはようで きょうも一日 さわやかに 新井 森本 幸
  - ・あいさつを 交わす近隣 よいまずな 水城 熊谷 五郎
  - ・あの子にこの人 皆んなに笑顔のごあいさつ
- 常盤台 中山 豊子

## 土曜日活動初年度報告

育成会会長 平栗 武

・おはよう! きょうも一日 がんばろう  
松尾小学校 一年一組一同  
以上の皆さんの作品です。ありがとうございます。立看板にしまして、各分館三ヶ月位の掲示で回覧します。

小学生の皆さんの作品は、アクリル板に書きまして、各分館

今年度は、学校土曜日制度が発足し、松尾青少年健全育成連絡協議会の協議のもと、できることから活動することになりました。その一部を報告します。  
〈育成会独自事業として〉

- 六月二十二日(土) 野球ごっこ
- 六月二十九日(土) ドッチビー
- 十月 六日(土) レクと映画
- 十一月二十三日(土) ドッチビー、ドッチボール、縄跳び、野球ごっこ、サッカー
- 二月 八日(土) 風船飛ばしと

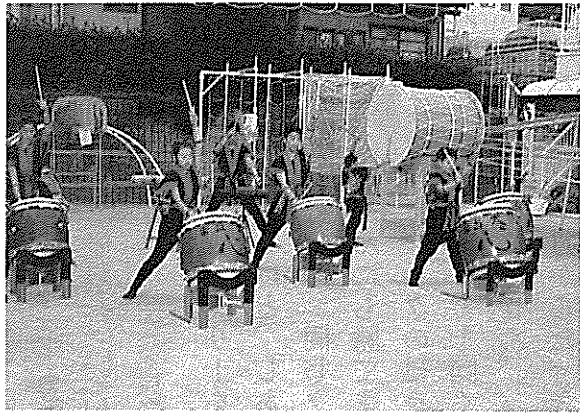
## 隠し文字見つけ

〈小学生対象の高齢者クラブと育成会との共催事業〉

- 八幡山でのマレットゴルフ
- 6月15日(土)・7月6日(土)
- 8月31日(土)・10月12日(土)
- 11月16日(土)

〈地区の祭りでの共催事業〉

六月八日(土)・中溝川へ生物採集  
・ふれあい広場  
一年間、高齢者クラブのご理解と協力、育成会委員の献身的活動ありがとうございました。又新しい活動もあり、予算の裏付けのない所、特別寄付、泰成電機工業社長(平栗伸好氏)には深い感謝を申し上げます。



パチの振動が心にひびくヨ。

和太鼓教室に入っ... わたしが、和太鼓教室に入っ... 理由は、いままでやっていた人達がいろんな所で発表する所をたくさん見ていて、すごく、やってみたいな一と思って、和太鼓教室に入りました。実際やってみると太鼓がすごく大きくて、いろんな太鼓があることを知りました。太鼓をたたくとすごく大きな音がしてパチからしん動がきました。パチの持ち方やたたき方があってそれを覚えて曲も覚ええました。最初はむず

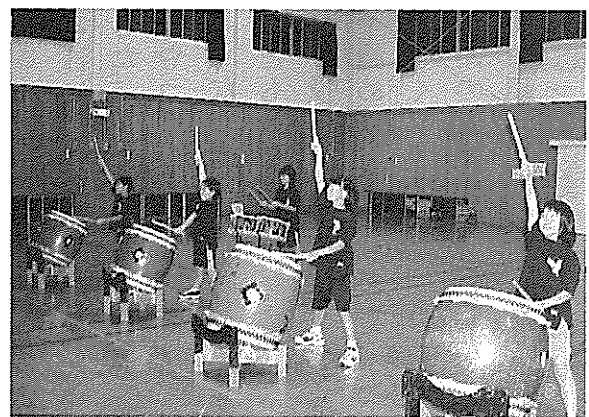
和太鼓教室に入っ

城 六年 坂楨 美咲

僕は、四年間太鼓をやった一番難しかった曲は、「飛竜三段返し」でした。本曲に入る前に砂切というのがあって桶でパチを回す所が難しかったです。あと本曲のリズムが前の太鼓と違って同じリズムなのでつられず叩くのが難しかったです。緊張したのは、方岳の響きの鉄管でした。鉄管が間違えると音がバラバラになるのでとても

四年間和太鼓をやってみて

毛賀 六年 風間 直人



稽古で汗びっしょり

かしかったけど、しっかり覚えて思いつ切りたたきたいです。二人の子供(中二)・(小四)が松尾青少年はつきりクラブ(詩吟)へ通い、今年で五年余となります。生来親に似て引っ込み思案な性格の姉弟でしたが、年々積極性が増し、今では人前で自分の意見をはっきり言えるようになりました。クラブの練習は土曜日の午後

詩吟と出合っ

保護者 市瀬 尚子



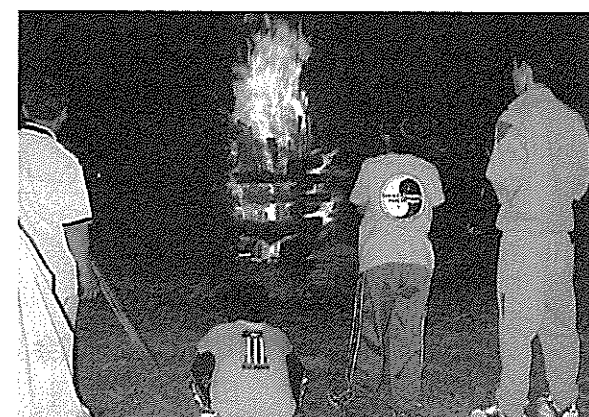
仲間との触れ合いも楽しみ。

県青少年吟道大会が七月二十日松本にて開催された。飯伊を代表してクラブ員が独吟で出場し銀賞に輝いた。出番までの緊張、そして入賞の喜びは格別共に感動の一瞬であった。会員の出席率も抜群で六年間を通じて皆勤精勤者も多い。八月には、全国大会があり一泊二日の吟行会をかねての出場がたのしみの一つである。「漢詩、少年老い易く」又一茶の俳句「雪とけて」と大きな声が毎週響く土曜日の午後である。

はつきりクラブの近況

クラブ指導者 下條 ヤス

各地区からの子供達が、初対面にも拘らず、顔を合わせるが早いか、以前からの友達同士のように和気あいあいと笑い、本気で意見を出し合い積極的に研修に参加する姿を見てとても驚き、又羨ましくも感じました。私自身が指導員としてどう接して良いのかと戸惑う中、担当班の子供達が元気に明るく慕ってくれ、色々教えてくれたのは私の方だった気がします。私の班の子供達は、ウォークラリーやキャンプファイヤー等の研修において、一生懸命全員で成し遂げようと協力し合い、一人一人が持っている長所を一杯出せたのではないかと思えます。元気に意見を出す子、思いやりのある子、他人を励ます子、全員をまとめる子等、それぞれの個性を生かし一つの目標に向かって取り組む姿は強く心に残り、とても清々しく感じました。この素直な子供達の心を育み伸ばしていく事が私達大人の大切な役割であると痛感し、心の触れ合いとは形式ではなく実



野外でのリーダー研修会

践であると感じました。今回の研修で指導員として学んだ様々な事を、少しでも地区の子供達の育成に役立てていければと思います。リーダー研修会に参加して 松尾小六年 木下 知美 私は、最初リーダー研修会とは何かわかりませんでした。ただ、他の学校の人も参加するので、友達をたくさんつくろうと思いました。しかし、ただ友達をつくるのではなく松尾小のリーダーになるために、いろいろなことを学ぶ所でした。ウォーク

楽しかったリーダー研修会

松尾小六年 小池 敦子

クラリーやスポーツを通じて、みんなと仲良くなり協力し、グループをまとめていくことの大切さを学びました。このことを忘れずに、学校の行事や活動にはげんでいきたいと思っています。一泊二日で阿南少年自然の家



楽しかったマレットゴルフ

少年自然の家ではウォークラリー、竹とんぼ作りをしました。キャンプファイヤーでは班の出し物をしたりダンス、ゲームをしてとても楽しかったです。たくさんのお友達が来てとてもうれしかったです。手紙を書く約束や夏休みにまた会う約束をしました。とっても楽しいリーダー研修会でした。おじいさんたちとたのしいマレット 松尾小三年 片桐 美咲 七月十二日にほっとアップル

学校からマレットゴルフのお

たよりをもらって、友だちの友達ちゃんをさそって、よかったな一と思えました。